

鹿児島盲学校

# 視覚支援センター便り

鹿児島市西谷山一丁目3番3号 TEL 099-263-6660

URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/kagoshima-b/>

鹿児島盲学校教育支援部

令和7年3月発行

鹿児島盲学校では、乳幼児から成人までの視覚支援に関する相談等に幅広く無料で応じています。今号では、今年度の本校における乳幼児教育相談や校外教育相談、啓発活動の様子について紹介いたします。視覚に関して気になることがある方は、御遠慮なく本校へお問い合わせください。

## 乳幼児教育相談 ～0歳から小学校入学まで～

見えづらさを抱えている子どもとその保護者を対象に、月に1～2回の個別相談と、月に1回の集団保育を行っています。また、保護者向けに視覚障害に関する情報を提供する「子育て講座」や、保護者同士が交流できる場などを設定しています。必要に応じて、巡回相談や電話相談等も行っています。

令和6年度に実施した集団保育と子育て講座について紹介します。

### 【 集団保育 】

「土遊び」「水遊び」「感触遊び」「親子ミニ運動会」「芋の収穫」「光遊び」「親子ふれ合い歌遊び」を行いました。特にゼリーや絵の具を使った感触遊びは普段できないダイナミックな活動を楽しめたようでした。



### 【 子育て講座 】

「盲学校の進路指導」「理療科職員の話」「保護者交流会」「点字タイプライター体験」「白杖歩行体験」「拡大読書器体験」を行いました。体験活動では、児童生徒が使用している道具を体験してもらいました。



## 幼児学級 ～3歳から小学校入学まで～

盲学校就学対象で、より継続的な指導を希望される幼児に対し、水・木・金の9:00～11:45で、日常生活に関する指導や、遊びを中心とした視覚や触覚を活用する活動・運動などの活動を行っています。幼児学級での活動を通して、早期教育と小学部へのスムーズな移行を目指しています。

### 【 主な活動の流れ 】

- 9:00～ 登校、朝の準備、朝の体操
- 9:30～ 朝の会、音楽遊び
- 10:00～ 課題遊び（個別の課題に取り組みます）
- 10:30～ 設定遊び（運動や季節の遊び）
- 11:20～ 帰る準備、帰りの会、下校

挨拶や靴の履き替え、靴の片付け、トイレなど日常生活に関連する内容を活動の流れに沿って練習します。朝の会ではカラー玉をペットボトルに入れながら数えて日にちを調べたり、音楽遊びで動作模倣やふれ合い遊びをしたりしています。



課題遊びでは、個に応じた課題に取り組みます。子どもの興味・関心のあるものを取り入れながら、手指の巧緻性を高めたり、数や文字・言葉に関する課題をしたり、点字の導入期の指導をしたりしています。



設定遊びでは、散歩をして音を聞いたり、いろいろな遊具で遊んだり、季節に応じて花や野菜を育てて触ったり、絵の具や粘土・パン粉など様々な触感のもので遊んだりして、経験や人との関わり合いを広げ、豊かな心と言葉を育てています。



# 校外教育相談 ～小学校入学から高等学校等卒業後まで～



学校見学会の企画や視覚障害や発達障害のある児童生徒、成人の方の相談を行っています。11月の学校見学会では、メガネのヨネザワ様とシステムギアビジョン様、2社の御協力をいただき「福祉機器展示会」を終日同時開催いたしましたところ、校外から25人、保護者や児童生徒、関係学校の先生方も含めて多くの参加がありました。今年の本校スローガンは「言葉をかけあい つながる盲学校」です。情報発信・情報共有の機会に、保護者も含めた多くの方々が最新の支援機器に触れたり、体験したりできる機会となったことをうれしく思います。保健師の皆様や相談支援センター、児童発達支援事業所、就労関係の皆様方との情報交換会などでは、本校の啓発だけでなく、障害のある方を支える姿勢、理解者を増やす大切さを改めて感じることができました。学校見学会は、夏頃から参加募集を行いますので、本校Webページ等で御確認ください。

また、月1～2回の定期来校相談にも複数校から子どもたちが通ってきており、見え方に関する相談や検査、弱視レンズや拡大読書器といった様々な視覚支援機器の使い方や点字、白杖歩行等を学習しています。巡回相談では、各地区教育委員会と連携の下、学校を訪問し実際の自立活動の授業等について教職員向けに研修をしたり、本人や御家族、担任と相談をしたりします。現在、タブレット版MNREAD-Jも活用しており、読み速度や文字サイズ等の検査結果を分かりやすくお伝えできるようになりました。対象児童生徒の見えにくさや困り感に寄り添い、丁寧に相談に取り組みます。今年度の相談の中でも、各学校の書見台、ルーペや単眼鏡などの環境整備が進んだり、お子さんの羞明が分かり、遮光眼鏡やルーペの選定のお手伝いをするなどして、処方や支援具の購入、眼科医受診につながったケース、校外で、駅の利用練習や雨天歩行練習をしたりするケースもありました。視覚障害のある方々にとって暮らしやすい社会作りのためにも、本校から発信し続け、切れ目のない支援を心掛けていきます。



【学校見学会：全体会】



【福祉機器展示会】



【授業体験 STT】



【拡大読書器の操作練習】

## 啓発・渉外

今年度は、市町村福祉担当者研修会、薩摩川内市と志布志市の民生委員・児童委員研修会への参加及び同地区の眼科、ハローワーク、基幹相談センター訪問、本校での公開講座（参加60人）や理療科体験入学（参加3人）の開催、高等学校養護教諭部会等での啓発活動を行いました。今号では、MBCラジオ「ふくしのラジオ！」（毎週木曜13:00～10放送）で1月16日～2月13日まで、計4回に渡り、本校が登場した放送について御紹介します。

全て、パーソナリティーの方が訪問されての取材でした。

1回目：学校長と理療科教諭が出演し、盲学校の沿革や教育、学校生活について、視覚障害のある教諭の工夫などを取り上げていただきました。

2回目：出演は学校長と別な理療科教諭。校内参観をしながら盲学校ならではの工夫、点字ブロックや音声パソコンを実際に操作している様子も紹介されました。また授業を録音しながら受けている生徒の様子や、拡大読書器を用いて教科書を読む様子も取り上げていただいています。



【音声パソコンの操作】

第3・4回目：出演者は専攻科生2人、実際にパーソナリティーにあん摩施術を受けていただき、その様子や生徒が本校に入学する経緯や現在の気持ちについて語っています。また、今後の目標や本校で感じたこと、世間一般の方々に対して視覚障害者へ配慮してほしいことなどを語っています。この放送を聴いてすぐ、臨床を受けたいと本校へ訪問された方もいて反響の大きさを感じました。3月現在、ポッドキャストやMBC「ふくしのラジオ！」のホームページでも視聴できるようですのでよろしければぜひ聴いてみてください。



【公開講座の誘導体験】